



※画像は診断書の一部を抜粋したものです。

省エネ相談記入シートに省エネ行動とエネルギー使用量を記入し、それを省エネ相談ソフトに入力すると、省エネ行動の度合、エネルギー使用量の多いところと少ないところ、省エネ行動によるCO₂削減量などの相談結果がアウトプットされます。

自分のお家のエネルギー使用量が平均的使用量に比べて多いのか少ないのかを把握できます。また、家族みんなで取り組むためのポイントがアウトプットされます。

イベントの時に外向くことが多いのですが、少人数の集まりの時に
などに省エネ相談を行い、皆でくらしの工夫を出し合うことで、よ
り効果的な省エネ行動につながります。



生協ひろしまの ISO14001 認証取得のシステム構築及び運用管理のほか、
家庭の省エネ普及のための調査と省エネ相談員の養成も行われています。



■ まず、自分のお家の電気、ガス、灯油などの契約種別と使用量（使用金額）を把握しておきましょう。

■ 省エネは、くらしの無駄をなくすることですが、それだけでは十分ではありません。太陽光発電や住宅の断熱工事などハード対策が必要ですが、コストのかかる話ですので、投資の試算も行います。

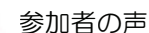

家庭の省エネは、家族で取り組むか否かが鍵を握ります。「エコライフ診断書」は、家族で話し合うためのアドバイス資料です。



少人数での省エネミーティング



省エネ相談の風景



- ・「水道光熱費の半分がお風呂だとは驚きました！」
- ・「省エネの極意は、家族が一部屋で団欒する事なのネ」
- ・「夫婦でフィットネスに行きだしたら、水道光熱費が半分になりました！」



～地球の温度上昇2℃未満に抑える～

COP21 に提出した日本政府の CO₂ 削減目標は、2013 年比で 2030 年までに 26%削減を掲げていますが、その内、産業部門は 6.5%であるのに対して家庭部門は 39.3%削減と非常に大きな目標となっています。

※お問い合わせは、市環境対策課（TEL：082-420-0928）まで。